

令和4年度 第6回 大和市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日時 令和5年2月16日(木) 午後1時30分から午後2時30分
場所 鶴間コミュニティセンター 2階 集会室
出席者 委員 9名 事務局 7名 傍聴者 0名

内 容

- 1 開会
- 2 内容
 - 1) 報告
 - (1) 地域包括支援センター委託状況について
 - 2) 議事
 - (1) 介護予防支援の委託について
 - (2) 令和4年度 大和市地域包括支援センター事業評価について
 - (3) 令和5年度 地域包括支援センター予算(案)と業務(案)について
 - (4) 地域包括支援センター事業委託料の精算について
 - 3) その他
- 3 閉会

配布資料

- 資料1 地域包括支援センター委託状況について
資料2 介護予防支援の委託について
資料3-1 令和4年度 大和市地域包括支援センター事業評価について 概要
資料3-2 市町村及び地域包括支援センターの評価指標
資料3-3 令和4年度 大和市地域包括支援センター事業評価について
資料3-4 令和4年度 第4回地域包括支援センター運営協議会(書面開催)にて
いただいた意見及び事務局回答
資料4 令和5年度 地域包括支援センター予算(案)と業務(案)について
資料4別表 包括ごとの予算額(案)
資料4-2 チームオレンジの取組の推進
資料5 大和市地域包括支援センター事業委託料の精算について(案)

議事の経過

- 1 開会
 - ・事務局より、大和市地域包括支援センター運営協議会規則第6条第2項の規定に基づき、出席者が過半数に達しているため、会議成立の旨を報告

- ・会長挨拶
- ・会長司会により、次第に沿って進行

2 内容

1) 報告

- (1) 地域包括支援センター委託状況について
資料1に基づき事務局から説明

<質疑応答> なし

報告事項について、委員全員一致により了承とする

2) 議事

- (1) 介護予防支援の委託について
資料2に基づき事務局から説明

<質疑応答> なし

議事(1)について、委員全員一致により承認とする

- (2) 令和4年度大和市地域包括支援センター事業評価について
資料3-1、3-2、3-3、3-4に基づき事務局から説明

<質疑応答>

委員:三職種のうち、どの職種が不足気味か傾向はあるのでしょうか。

事務局:大和市において、三職種の配置基準を満たしていないのは全て保健師の配置です。保健師の代わりに保健師に準ずるものとして十分な経験を積んだ看護師を配置しておりますので、昨年度末の時点で欠員している包括はありません。しかし、国の基準は保健師を配置となっておりますので、三職種の配置基準を満たしていないという結果になっております。

委員:この評価は誰がどのように評価をしているのでしょうか。

事務局:評価については国から示された基準に沿って、市町村の項目は市が、包括の項目は包括がそれぞれ評価を行い、市で内容の確認を行っております。

議事(2)について、委員全員一致により承認とする

- (3) 令和5年度地域包括支援センター予算(案)と業務(案)について
資料4、資料4別表、資料4-2に基づき事務局から説明
- (4) 地域包括支援センター事業委託料の精算について
資料5に基づき事務局から説明

<質疑応答>

委員:大和市社協がこれまで行っていた統括的役割を、各包括にやっていただくということですが、今まで市社協がどういう部分を担っていたのかを説明していただけますか。

事務局:今まで市社協が担ってきた統括的な役割は、主に三つあり、一つ目が大和保健福祉医療ネットワークにおいて包括代表の運営委員として活動内容の検討を行っています。二つ目は、各包括の課題についての検討会を年に4回程度行っており、その取りまとめの役割を担っています。三つ目が市社協の法人独自の役割で、障害者自立支援協議会で部会の一員として活動しております。こちらについては、市社協が自立支援等を担っているという法人の特性から行われるものであって、新たな法人が担うのは難しいと考えています。他の二つの役割については、包括の中で検討してどのようにしていくのかを考えていくことが出来るため、統括的役割を設けない方針とさせていただきます。

委員:9包括の連携は大和市内において必要な部分と認識をしているので、市社協が担っていた部分を今後、市としてどう責任を持っていくのかをお聞きしたいと思います。市がリーダーシップをとって継続していく必要が今後あるのではないかと思いますので、そのところをどうお考えかを教えてください。

事務局:9包括が連携していくことや定期的な連絡会等で横のつながりを作ることは、市としても重要と考えております。しかし、これまでのように特定の包括が取りまとめ役を担っていくかどうかについては、包括・在支ケア会議等で包括センター長の意見を聴きながら考えていきます。

委員:チームオレンジの取組の推進について、今まで養成してきたサポーターにどのように活躍していただくかが課題だと思っていますので、チームオレンジという形で実践できる方にとってはよい取組と思います。併せて、協議体との連携を意識した方がこの取組は有効になると思います。包括は、養成したサポーターに取組をお願いしたいところだと思いますが、協議体でも、認知症の方の支援等について包括に相談する機会が多くありますので、包括が全部を抱え込むのではなく、協議体と連携を図れるよう、市がフォローしながら取組を進めていただきたいと思います。

事務局:おっしゃるとおり、協議体とリンクする部分や相談の入り口として協議体が活用をされているという現状がありますので、包括支援センターにもいただいたご意見を提案しながら進めたいと思います。このチームオレンジの取組は、包括や市などが実施している認知症サポーター養成講座の受講者に再度研修を受講していただいてチームオレンジということなのですが、再度の研修を包括だけで実施するのは大変なため、市と包括協同で研修を開催し、活動していく中での心構えや、認知症の人へのお声かけの仕方などを学んでいただきながら進めています。引き続きご意見いただければ幸いです。よろしく申し上げます。

委員：説明の中でチームオレンジの活動が現在2か所とありましたが、差し支えなければどこで活動しているか教えてください。

事務局：今年度、試行的に小さなチームを2チーム、それぞれが3人一組でチームを組んで、認知症の人を加えて活動を進めています。どこかで内容をご紹介できる機会ができましたら活動経過をご報告できたらと思っております。

議事（3）（4）について、委員全員一致により承認とする

4）その他

- ・次回開催日時は、令和5年3月9日（木）午後を予定しております。
- ・本日の議事録については、議事録（案）を作成し、各委員に確認していただいた後に委員名を削除し、市のホームページに掲載します。

3 閉会

- ・職務代理より閉会挨拶